

アーツマネジメント講座

レオニー・バウマン氏 レクチャー in 大阪

ベルリンのコンテンポラリーアート・シーンで

40年以上にわたって市民協働を実践してきた NGBK のマネジメントを学ぶ

バウマン氏がディレクターを務める NGBK (Neue Gesellschaft für bildende Kunst eV/1969年～) は、現在 850名の会員を擁するアート NPO(Kunstvereine) です。NGBK が特徴的なのは、会員なら誰でも展覧会やワークショップの企画を立案できるということです。会員は自分が実現させたい企画をプレゼンテーションし、多数決で決定がなされ、選ばれた企画は会員のワーキンググループによって実現されます。

また、アートと社会問題の融合をテーマに掲げている点でも先駆的です。これまでセクシュアリティ、移民問題、フェミニズム、人種差別、HIV、失業といった、様々な社会問題を題材とした展覧会が生み出されてきました。専門家としてのキュレーターやディレクター主導ではない、会員主体の運営を設立当初から実践しつつ、社会的課題にアートの側面からアプローチする現代的高品質の高い企画で国内外の評価も高く、また有用な人材を多く輩出するなど、ベルリンのコンテンポラリーアート・シーンでは重要な役割を果たしています。

市民主体の組織運営とクオリティの確保、その2つを長年にわたって実現してきた NGBK のアーツマネジメント技術や組織運営について、20年以上にわたって運営に携わってこられたマネジメント・ディレクターのバウマン氏にお話しいただきます(通訳つき)。

■開催概要

- 日時：2010年12月20日(月) 19:00～21:00
- 会場：船場アートカフェ (大阪市中央区久太郎町3-2-15 三休橋エクセルビル北館 B1F)
<http://art-cafe.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/index.html>
- 参加無料、当日先着順受付(定員25名)
- 日本語通訳つき
- 主催：船場アートカフェ (大阪市立大学 都市研究プラザ)
- 協力：せんだいメディアテーク

■レオニー・バウマン (Leonie Baumann)

NGBK (新美術協会) ディレクター。教育学・社会学を学んだ後、オスナブリュック市と大学を結ぶコーディネーション事務所所長、ベルリン Kunst am Bau (公共彫刻) プレスオフィスの長官兼編集長を経て1991年より現職。

ドイツのアート NPO (Kunstvereine) 統括組織の会長、ニーダーザクセン州の芸術機関 NPO の義援金配分委員会 (Vergabebeirat) 会長、ベルリン芸術機関 (Rat für die Künste) 広報担当官も務める他、著書や講師、審査員としても活動中。